



フォトレポート

2014 秋の大運動会

9月13日に各中学校、27日には6校の小学校（下妻小学校・上妻小学校・高道祖小学校は5月に開催）で、秋の大運動会が開催されました。

両日ともに秋晴れに恵まれ、団体競技では競技に集中するあまり、勝敗が決まると悔し涙を流す子どもたちの姿も見られました。子どもたちの応援や歓声が青空高く響きわたりました。



通勤ドライバーに交通安全を呼び掛けました

正しいルールで、安全第一！

秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン

9月19日、午前7時30分から市内本宿交差点と宗道交差点の2箇所で、交通安全運動の街頭キャンペーンが行われました。

この街頭キャンペーンは、9月21～30日の10日間、秋の全国交通安全運動が実施されることに先立ち行われたもので、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体等の関係者約80名と下妻一高野球部員26名が通勤するドライバーに交通安全グッズを手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

下妻一高2年生で野球部主将を務める泉邦明さんからは「交通安全運動を通して改めて交通安全の大切さを見直していきたい」との決意表明がありました。



子どもたちに “物を大切にできる心”を伝えたい

「下妻おもちゃ病院」の活動は、思い出の詰まった壊れたおもちゃを直すことで、子どもたちに“物を大切にできる心”を伝えたいと思い、平成24年5月から始めました。ドクターごとに電気工作や木工工作、さらに裁縫作業などそれぞれ得意な作業があるので、お互い協力して治療にあたっています。

8月19日、下妻駅近くの栗山商店街の中にあるコミュニティカフェ・ぷらっとほーむにて、夏休みの子どもたちの思い出作りイベント「木工工作教室」を手探りの中、ドクター仲間5人と子どもたち8人の合計13人で、「鉛筆立て・車のおもちゃ」をつくることにチャレンジしました。

電動ドリルやインパクトドライバーなど、初めて触る道具に子どもたちは、最初はおっかなびっくりで、ドクターの補助が必要でしたが、徐々に慣れてくると一人で作業できるようになってきました。中には、予定時間を超えても「まだ作業したい」と言い出す子どももいました。そこにはみんなの笑顔があり、このイベントを企画して良かったと思った瞬間でした。

ボランティア団体「下妻おもちゃ病院」の院長として活動する海老澤修一さん(若柳)からのお便りを紹介します。

「下妻おもちゃ病院」は、毎月第2・第4の月曜日に、下妻ボランティアセンター（下妻市社会福祉協議会事務所の向かい）にて活動しています。壊れたおもちゃは、下妻社会福祉協議会でも受付してくれます。また、一緒に活動していただけるドクターも募集中です。これからも、子どもたちの笑顔を励みに、自分たちも楽しみながら、息の長い活動にしていきたいと思います。



完成した作品を手に喜ぶ子どもたちと一緒に（海老澤院長：2列目左から1番目）

有料広告欄

有料広告欄